

令和6年度第2回学校関係者評価委員会報告 評価委員からの感想及び提言等

1. 日時：令和6年11月8日(金) 午後2時25分～午後4時00分

2. 会場：川内高校校長室，研究公開授業各教室

3. 日程：14：25～15：15 授業参観（令和の日本型学校教育研究公開）

15：30～16：00 第2回学校関係者評価委員会

4. 評価委員からの感想及び提言等

（A委員）

○興味をひく授業で色々と工夫されており，面白い。生徒も真面目に聴いている。寝る生徒がいない。生徒がきちんとしているのは，普段の指導の成果だと思う。

（B委員）

○プロジェクターを使用していたが，小中学校の電子黒板よりも見やすくて良かった。

○生徒が普段から，ロイロノート等の使用に慣れているのが分かった。

△ICTを使うのであれば，従来の講義型の授業をしてしまうと使う意味がない。もっと生徒に考えさせて答えさせる場面もあってよい。

（C委員）

Q黒板とタブレットの使い分けはどうしているのか？生徒は書いてあるのをまとめられているのか？

→◇①ICTの使用と板書のどちらが効果的なのか，授業担当者が考えて使用しないといけない。

②また，説明を聞くのかノートにまとめるかは，授業担当者が指示すべき。

Q学校全体として，ICTの使用について統一事項があるか？

→◇今のところ個々の取り組みになっている。

△QRコードを読み取れなかったり，授業の途中でタブレットの充電が切れたりすることがある。

△机が狭く，教材とPCを置ききれていない。

（D委員）

○それぞれの生徒が同時に色々な活動をしており，自由を感じた。

△興味を持たせる授業は楽しいが，基礎基本の定着が間に合うのか気になる。学ぶべきことをやり切れるのか。

→◇【知識及び技能】と【思考力・判断力・表現力】を身に付けさせる授業を，各教科・教員が計画的にバランスよく行っている。